

つなぐ法務

「産」と「学」双方の立場を理解し、 法的知識と交渉力で大学シーズを社会に活かす



法的知識と交渉力で、大学のシーズを社会に活かす過程をトータルに支援し、 異なる社会的役割と文化を有する産・官・学の連携を促進します。

- 一 研究者と企業の連携スキームを法的にデザイン
- ― 目標達成に向けた法的助言や、連携過程で生じる法的課題の解決策提示
- 一 ライセンス活動・起業を法的側面からバックアップ

法務部門では、個々の契約協議やその法的チェックを行うだけではなく、学内外の研究者が横断的に連携する大型プロジェクト立上時の法的スキームの構築、プロジェクト実施中の諸問題の解決、プロジェクトから生じた知財活用に関する法的合意形式など、あらゆる面での法的支援を行います。また、これらの法務実施を円滑に行うため、各国の関連法的制度に関する調査研究、産・官・学それぞれの実務者との意見交換なども実施しています。





研究成果(知的財産) の権利化と社会実装



大学の研究から生まれた発明等を特許として出願・権利化し、 産業界で実施されるための活用戦略検討、契約支援などを行います。

特許出願、権利化、維持

大学の研究からは、原石ながらキラリと光る成果や、将来産業分野の基盤となるようなポテンシャルを秘めた成果が日々生まれています。知的財産部門では、研究者から届出された発明について、特許性や市場性に基づいて大学が承継すべきかどうかの審議を行い、特許出願すると決定したものについて出願手続、維持管理を行っています。なお、個別案件の調査や出願維持の手続業務は株式会社TLO京都に委託しています。

知的財産の戦略的な活用

出願した特許発明を産業界で実用化させるため、企業へのライセンスやさらなる研究開発体制の構築、ベンチャー設立など、活用戦略を検討し技術移転活動を行います。

大学の特許は、すぐにライセンスして実用化できるようなもの

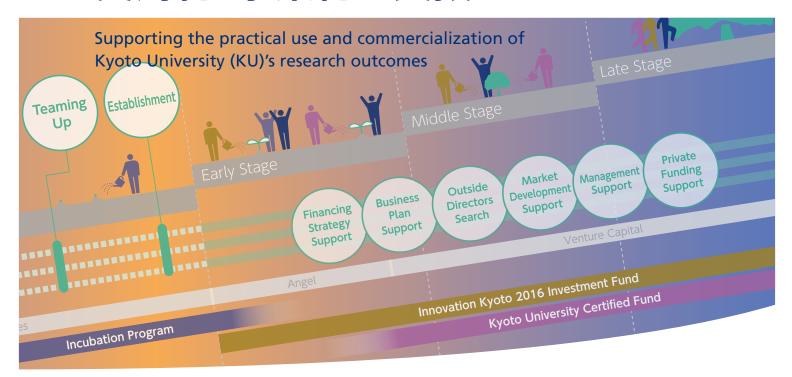
ばかりではありません。企業と共同研究を行ったり、国家研究プロジェクトを獲得して開発を進めたりするためのシーズとして特許を確保し、そこから生まれた成果をさらに特許出願して有効なものにしていくといった進め方も考えられます。また、自ら事業化(ベンチャー起業)を目指す研究者には、ベンチャー企業の立場から必要な知財戦略のアドバイスや支援も必要となります。知的財産部門は、出願した特許の活用戦略を検討し、学内外機関と連携して、大学の研究活動及び産業界への貢献を知財面から支援しています。

発明相談、契約対応

共同研究や受託研究、秘密保持等の契約を締結する際の知財の取扱いについて、確認・検討を行います。また、大学研究者が研究活動の中で生じる知財の相談を承ります。



研究成果の 実用化・事業化を支援



出資事業支援部門では、京都大学の世界最高水準の独創的な研究開発を推進し、その成果を新産業の創 生や社会的価値の創出につなげるため、学術研究支援室、知的財産部門および社会連携部門等の学内組 織と協働しつつ、京都大学イノベーションキャピタル株式会社および株式会社TLO京都等の学外組織との 連携も図りながら、シーズ段階から大学の研究成果の実用化・事業化に向けた活動を、GAPファンドプログ ラムおよびインキュベーションプログラムならびにベンチャーインキュベーションセンター(KUViC)等によ り、多角的に支援いたします。これら各種プログラムを通じた支援に加え、事業化に向けたプロセス(会社設 立、研究者のベンチャーへの係り、資金計画、事業計画策定等)へのアドバイスを実施いたします。

GAPファンドプログラム

研究成果の実用性を検証するための支援制 度。事業化を目指す研究開発に対し、最長1年 間、最大300万円の助成を行ないます。



インキュベーションプログラム

研究成果の事業化のために、本学研究者と起 業家とが協力し、VCからの資金調達を目指す プロジェクトを支援する制度。ベンチャー企業 での研究成果の事業化を目指す経営者候補 または経営者と、本学教職員

との共同プロジェクトに対し、 最長3年間、最大3000万円/ 年の助成を行ないます。



KUViC

ベンチャー企業が入居可能なオフィスを整 備。大学キャンパス内にベンチャー企業の本 社機能を置くことができる場所を提供し、創 業前後のベンチャー企業の経営チームと研究

者が密に協働できるようにす ることで、研究成果の事業化 を加速します。





産官学連携本部が支援する、研究成果の実用化・事業化 例



GAPファンドプログラム

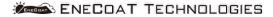
- ゲノム編集魚の社会実装
 GAPファンドプログラム ⇒ インキュベーションプログラムに採択され実用化を加速
 木下助教/リージョナルフィッシュ(株)
- 楽曲分離技術に基づいた演奏データ作成 吉井准教授/(株)UTSUWA



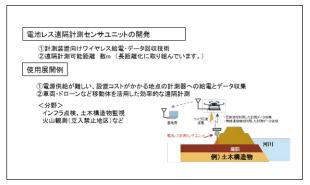
インキュベーションプログラム

- ペロブスカイト型太陽電池 若宮教授/(株)エネコートテクノロジーズ
- マイクロ波電力伝送技術を利用した 計測センサのワイヤレス化篠原教授/(株) 翔エンジニアリング









ベンチャーインキュベーションセンター(KUViC)



(株) データグリッド



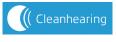
(株) Anamorphosis Networks



(株)ガンキルファーマ



(株)UTSUWA



Cleanhearing Inc.







社会の様々な要望や 課題解決の依頼に対応

Serving Societal Needs: Collaboration to Solve Problems with Our Rich Resources and Special Expertise Cooperation Solution

社会の様々な要望や課題解決の依頼に対して、社会連携部門では以下の機能をもって対応します。

(1)国家プロジェクト推進機能

国家的課題や社会ニーズを分析し、関係省庁や企業と連携を図り、政策立案段階から国への働きかけを行い、新たな国家プロジェクトを獲得することを目的とします。

(2)共同研究戦略·支援推進機能

企業からの課題が多様化し、個別共同研究マッチング以外の組織対組織の包括連携が望まれている背景から、 個々の企業の課題に応じた共同研究戦略立案・支援を行います。

(3)国際連携推進機能

海外とのネットワークの構築や動向調査、共同研究の組成、ジョイントセミナー、シンポジウムを通じて 海外での京都大学のプレゼンス向上を行います。

(4)大学·地元連携推進機能

京都府下の9大学(京都外国語大学、京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都女子大学、京都 精華大学、京都美術工芸大学、同志社女子大学、京都大学)と連携を図り関東圏に京都の文化・芸術・科学を発信する「京都アカデミアフォーラムin丸の内」の推進や地元自治体や企業に対して大学の資源を活用しあらゆる課題に対処します。

京都のみならず東京拠点も活用し、学内のリサーチアドミニストレーター(URA)や子会社の株式会社 TLO京都、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、京大オリジナル株式会社と有機的な連携を図り、 京都大学でしかできない産官学連携の推進を行います。



Endowed Research Chair Innovation Management Science



起業家精神あふれる 人材の育成





社会のあらゆる分野で積極的に新しい価値創造にチャレンジし、独創的な夢の実現を目指すアントレプレナー人材を育成します。

- (1) 全学学生・院生を対象としたアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・実施
- (2) アントレプレナーシップ研究および効果的な教育法の研究実施
- (3) アントレプレナーシップのエコシステム構築
- (4)情報発信、国内外機関等との連携・交流実施

などの取り組みを通じて京都大学における産学連携機能の強化等の実現を目指しています。

IMSのアントレプレナーシップ教育プログラム

- 産官学連携本部の寄附研究部門(プロジェクト)である IMS(イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門) は、起業家人材育成の趣旨に賛同する企業からの寄附金 等の民間資金を活用しつつ、各種補助金、大学予算等、産 官学すべての資金を活用して運営されています。
- ベンチャー企業の最重要な資産は「人」であるとの認識で、 将来新たな事業を起こしリーダーとして活躍できる、高度 な専門的知識とチャレンジ精神を兼ね備えた人材の育成 を担当しています。
- 具体的には、基礎から実践までの各段階において、習熟度 と関心レベルに応じた人材育成プログラムを提供すること で、起業人材の裾野の拡大から、起業後の資金調達のため のメンタリングまでを行っています。



Project

プログラム・主なコンテンツ

大学院共通教育

研究事業化プログラム、

EDGE-NEXT (文部科学省)プログラム

イノベーション/技術商業化PBL

全学共通科目(ILASセミナー)

高大接続プログラム

KUEP

(Kyoto University Entreprenur Platform)

「アントレプレナーシップ入門」、 「アントレプレナーシップ演習」、「知的財産」

「GTEPカタパルト」(メンタリング・コーチング による V C からの資金調達を支援)、「起業と 事業創造」、「ベンチャー経営論」、「キャリアセ ミナー@京都」(エントリープログラム)

「技術イノベーション事業化コースGTEP」(東京、京都開催 社会人、研究者等対象)



受講生による起業・受賞実績



J-Startup

問い合せ先/ウェブサイト

OSAKA INNOVATION HUB

1st

venture@saci.kyoto-u.ac.jp
https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ip/invention/

Special

START ME UP AWARDS

